

令和 4 年秋の年次公開検証の指摘事項に対する各府省庁の対応状況

令和 5 年 3 月 31 日
行政改革推進会議

—目次—

令和4年秋の年次公開検証対象事業

- ・ 基金（担い手経営発展支援基金（農林水産省）） 1
- ・ 基金（中小企業等事業再構築促進基金（経済産業省）） 2

秋の年次公開検証の指摘事項に対するフォローアップ

担当府省名	農林水産省		
テーマ等	基金（担い手経営発展支援基金（担い手経営発展支援金融対策事業））		
指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手経営発展支援基金について、<u>執行実績や具体的な需要等を基に、合理性・現実性のある事業見込み・執行計画に見直すとともに、保有水準についても精査すべき。</u>また、加えて、事業の目的を早期に達成する観点からも、<u>本基金の終期について検討すべき。</u> 		
個別項目	対応方針・スケジュール	令和5年度予算政府案閣議決定時までに決定・実施した内容	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>担い手経営発展支援基金について、執行実績や具体的な需要等を基に、合理性・現実性のある事業見込み・執行計画に見直すとともに、保有水準についても精査すべき。</u>また、加えて、事業の目的を早期に達成する観点からも、<u>本基金の終期について検討すべき。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業見込み・執行計画について、より合理性・現実性のあるものとなるよう過年度の支出実績を反映させる等の見直しを行い、保有水準についても当該見直しを踏まえて精査する。また、本事業の必要性を踏まえつつ、本基金の終期について検討する。 ・令和5年度の本基金事業において、上記の見直しを反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記方針に沿って、過年度の支出実績等を踏まえ、より合理性・現実性のある事業見込み・執行計画に見直すこととし、その詳細について省内での検討及び関係団体との検討を進めているところ。 	

秋の年次公開検証の指摘事項に対するフォローアップ

担当府省名	経済産業省		
テーマ等	基金（中小企業等事業再構築促進基金（中小企業等事業再構築促進事業））		
指摘事項	・中小企業等事業再構築促進基金について、適正かつ効率的に国費を活用する観点から、基金事業の執行体制を精査するとともに、適正な管理費の把握や、削減に努めるべき。また、執行実績や具体的な需要等を基に、合理性・現実性のある執行計画に見直すとともに、保有水準についても精査すべき。		
個別項目	対応方針・スケジュール	令和5年度予算政府案閣議決定時までに決定・実施した内容	備考
<p>①適正かつ効率的に国費を活用する観点から、基金事業の執行体制を精査するとともに、適正な管理費の把握や、削減に努めるべき。</p> <p>②執行実績や具体的な需要等を基に、合理性・現実性のある執行計画に見直すべき</p> <p>③保有水準についても精査すべき。</p>	<p>①基金の執行状況や体制について、週次の定例会やメール報告を通して把握している。これらの情報を踏まえ、管理費を削減できる余地が無いが、令和4年度中に検証を行う。</p> <p>②保有割合の計算について、合理性・現実性のある執行計画に基づく、具体的な積算を行った。</p> <p>③保有水準の精査について、上記①の管理費の削減の見直し等を踏まえ、速やかに実施し、その結果を、令和5年度基金シートの保有割合の計算においても適切に反映する。</p>	<p>①の管理費の削減に関しては、秋の年次公開検証にてご指摘のあった事務局のオフィス賃料について、賃料の平均単価を下げるため、分散させても効率が落ちない業務を特定し、令和4年11月～12月にかけて地方にサテライトオフィスを設け、業務移管を進めている。</p> <p>コールセンター、HPについては、一定の間隔で再委託先の再公募を実施し、コストパフォーマンスが優れている者を採用することを義務づけた。その際、チャットボットの活用検討等、費用低減を求めるよう指示している。</p> <p>②保有割合の計算については、当初、保有割合を「基金残高＝今後の使用見込み額」とし「1.00」と計算していたが、今後の使用見込について、具体的な積み上げに基づいて再計算したところ、0.98となり、公表している4年度基金シートを修正した。</p> <p>【今後の使用見込み額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度末時点で、第1回から第4回の採択が完了、第5回の申請を締め切っており、事業費総額は11,296億円と見込んでいた。また、事務費総額は421億円を見込んでおり、執行総額は11,717億円の見込み。 ・上記執行総額見込みのうち、令和3年度には117億円を執行済みであり、11,600億円が今後の使用見込み額。 <p>【基金残高】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度末時点の基金残高11,368億円 	<p>②最新の基金シート https://www.meti.go.jp/information_2/publicoffer/2022fykikin.html</p>